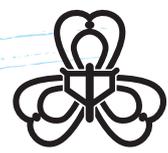


# 友よ!

新未来  
創造  
特集号



# 東京・石中会だより

第20号

発行：東京・石中会広報委員会 事務局：〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-56-7-906  
相澤貞止 方 TEL&FAX：03-3412-9759  
事務局メールアドレス：t-sekichukai-tk@jcom.home.ne.jp 令和6年6月1日

## 東京・石中会「新未来創造：本格的な再スタートの年」



校歌

作詞 芳賀秀次郎  
作曲 池内友次郎

一

群れとぶ鴨よ  
永遠なる北上  
歴史ははるけく  
ゆたかしその愛  
まもらむその愛  
高鳴る生命よ  
若き幸よ  
栄えあれこの丘  
われらが母校

二

美しみどりよ  
牡鹿の山々  
希望はあかるく  
こぞりて磨かむ  
みがかむその叡智  
とどろく潮よ  
さよき夢よ  
栄えあれこの丘  
われらが母校

三

輝く海原  
すがしき雲雀野  
未来ははてなく  
雄々しく進まむ  
すすまむ その道  
校旗は燦たり  
青き風よ  
栄えあれこの丘  
われらが母校

### 新しい未来の創造に向けて 東京・石中会 会長 加藤友成(18回生)



東京・石中会の皆さん、健康で穏やかな毎日をお過ごしでしょうか。

昨年は新型コロナが5類に分類され、社会は大きく変わりました。国内外の動きには様々な新しい動きが出ております。日本では再び成長する姿を求めて新しいうねりが起き始めています。海外で活躍する若い力も私たちを後押ししていると感じるのは皆さんも同様かと思いません。未来に向けて新しい風が吹き始めていると感じるこの頃です。

東京・石中会は昨年に20周年を迎え、久しぶりで「東京・石中会の集い」を新しい会場(銀座クラシックホール)で開

催し、教育講演会もUNHCRで世界の難民問題に果敢に挑んできた久保眞治氏に講演をいただきました。今年度の会報誌20号では「石巻市報告」、「石巻中学校の活動報告」、「演劇を通して繋がる道のご紹介」、「ISHINOMAKI2.0からの活動のご紹介」、等と未来に通じる新しいコンテンツをお知らせすることが出来たと考えております。

今年度は未来に向けて「本格的な再スタートの年」、新しい交流が始まる年にできればと考えています。「東京・石中会の集い」でお会いできることを楽しみにしております。今年もご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### ごあいさつ 石巻市長 齋藤正美



梅雨の候 東京・石中会の皆様には、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、今回の「東京・石中会だより」のテーマは「再スタート」と伺っております。昨年度、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症へと移行し、様々な活動が行動制限を伴わずに行うことができました。本市においても、様々な場面で「再スタート」を切っております。皆様の母校である石巻中学校も、老朽化に対応するための長寿命化工事を行い、装い新たな校舎で本年4月より生徒達が勉強に励んでおります。

また、昨年度は様々なまつりやイベントを再開すること

ができたほか、4年ぶりに外国客船の寄港が再開するなど、街が大いに賑わいました。

一方、人口減少や少子高齢化は進行しており、その対策は喫緊の課題であります。人口減少の抑制と稼ぐ力を強化・創出する「地方創生・まちづくり」を強力に推進し、「全ての市民が石巻に住んで良かったと思えるまち」の実現に向け、全力で市政運営に取り組んでまいりますので、今後とも御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに、貴会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝をお祈り申し上げ、挨拶といたします。

## 石巻中学校の改修工事、柔剣道場新築工事完了



校庭から見た校舎

石巻中学校の校舎及び体育館について、施設の長寿命化を図るための工事を実施していましたが、令和6年3月に工事が完了しました。

また、中庭に柔剣道場を新築し、校舎と併せ令和6年4月から、生徒達が新たな学び舎で勉強や部活動に励んでいます。



授業の様子



校訓碑



中庭に新築された柔剣道場



入学式の様子（新体育館）

## 第100回 石巻川開き祭りを盛大に開催！！

令和5年8月、記念すべき第100回の節目となる川開き祭りが開催されました。

孫兵衛船競漕などの恒例行事に加え、記念大会にふさわしい特別事業として、中瀬公園でのスペシャルライブや、約700機のドローンが夜空を彩るスペシャルドローンショーが行われました。

また、花火大会は、震災前と同規模の約1万6千発、会場も大橋地区で開催され、多くの方々が、夜空を見上げ、大きな拍手と歓声が上がりました。

3日間で、のべ27万6千人の方々に御来場いただき、これまでの閉塞感を打ち破る大きな盛り上がりを見せました。

今年は、8月2日から4日まで3日間の日程で開催される予定ですので、ぜひお越しください。



石巻市の  
観光情報

ぜひこちらも  
ご覧ください！



## 石巻港に過去最大級の大型客船が寄港

新型コロナウイルス感染症の影響で中止されていた外国客船の受け入れが4年ぶりに再開し、令和5年度は3隻の外国客船を含む延べ5隻の大型客船が石巻港に寄港しました。

8月には、石巻港へ寄港する客船としては史上最大級となる、総トン数171,598トン、定員5,714名の「MSCベリッシマ」が寄港。水産都市らしく大漁旗を振ってお出迎えをしました。

街中は海外からの旅行者をはじめ多くの乗船客で賑わい、活気にあふれました。



### 石巻市へ

# ふるさと納税

お待ちしております！



石巻市へいただいた寄附金は

『ひとりひとりが多彩に煌めき共に歩むまち』  
の実現のため、活用させていただいています。

### 寄附額と活用事業

令和4年度寄附額 **約8億円**

#### 【令和4年度寄附金の活用事業】

- ◆ 地域交流・定着支援、スポーツ交流推進などの**市民協働の推進**
- ◆ 魅力ある学校づくり事業などの**教育の充実**
- ◆ 創業支援補助事業などの**産業振興**
- ◆ 地域互助活動推進や子ども・子育て支援などの**保健福祉の充実**
- ◆ 花いっぱい運動などの**環境保全や文化の振興**
- ◆ 路線バス運行補助などの**住宅・公共交通の整備**

### 返礼品

いただいたご寄附へのお礼として、寄附額に応じて特産品をお選びいただけます。



三陸沖で取れる魚介類をはじめ、たくさんの魅力的な石巻の特産品を取り揃えています。

申込方法



#### インターネットでの申し込み

以下のふるさと納税サイトがご利用いただけます。

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税

ANAのふるさと納税

JREMALLふるさと納税

さとふる

ふるなび

まいふる



#### 申込書での申し込み

資料を郵送いたしますので石巻市ふるさと納税事務センターへお問い合わせください。

TEL 0120-832-230

FAX 0225-94-1283



※詳細は石巻市ふるさと納税特設サイトをご覧ください。→

# 「第17回 東京・石中会の集い」の報告 成家新一(40回生)

## 4年ぶりの開催で感激の「東京・石中会の集い」!

令和5年7月8日(土)、東京・石中会の集いが4年ぶりに開催されました。会場は銀座ライオン・銀座クラシックホールで、参加者は会員37名、来賓8名の計45名と多くのメンバーが参加しました。

今回は東京・石中会の創立20周年記念ということで大いに盛り上がりました。会場の皆さんには久しぶりの再会と新しい出会いが広がり、お互いに喜びを分かち合う有意義なひと時となりました。

第1部は総会です。31回生、酒井義孝さんの司会で以下の通り進行しました。

### 第1部：総会決議

- 1 開会
- 2 物故者を悼む
- 3 会長挨拶
- 4 議長選出
- 5 議事
  - ・第1号議案 活動報告(2019年度～2022年度)
  - ・第2・3号議案 収支報告・監査報告(2019年度～2022年度)
  - ・第4号議案 2023年度予算(案)
  - ・第5号議案 会則の改定
  - ・第6号議案 役員改選
- 6 閉会

コロナ禍で開催できなかった4年分まとめた総会でしたが、会員の熱心な参加により議案は全て承認され、滞りなく終えることが出来ました。

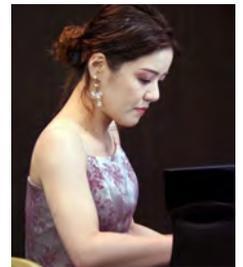
第2部は皆さん待ちに待った懇親会です。司会は40回生の成家新一にバトンタッチ。以下の通り進行しました。

### 第2部：懇親会

- 1 始まりの宣言
- 2 来賓のご挨拶 石巻中学校校長 山内芳明 先生  
群鴫会会長 浅野 亨 様
- 3 来賓のご紹介
- 4 乾杯  
(歓談)
- 5 イベント：ミニコンサート  
(歓談)
- 6 みんなで合唱 石巻中学校校歌
- 7 終わりの挨拶



三浦梓さん 渡邊公威さん



内海清佳さん



加藤会長



浅野亨群鴫会会長



山内校長先生



乾杯～!

### 石巻の未来へ向かって!

## 優しさと豊かさの創造 宮城ヤンマー株式会社

代表取締役社長 浅野 亨

〈本社・工場〉宮城県石巻市松並一丁目14番5号  
TEL (0225) 93-2121(代)

〈拠点〉仙台支店・盛岡営業所・気仙沼営業所・不動町工場

### 《取扱商品》

- ディーゼルエンジン
- 常用・非常用発電装置
- 海水清浄装置
- コージェネレーションシステム
- FRP船
- ヤンマー純正部品
- 土木資材 等の販売 及び 修理・メンテナンス

URL : <https://miyagiyanmar.co.jp>

美味しい料理と飲み物を楽しみ、和気藹々とした雰囲気、久しぶりの再会を祝いました。BGMには「カンタータ大なる故郷石巻」、我々の故郷のお酒「日高見」と「浦霞」も用意させていただきました。会場内はお酒を紹介する司会者の声もBGMのカンタータも耳に届かないほどの熱心な歓談。そして、最大の盛り上がりは東京・石中会が誇る音楽家グループによるミニコンサート。今回は42回生テノール渡邊公威さん、59回生ソプラノ三浦梓さん、ゲストで渡波中学校出身ピアノ内海清佳さんに歌唱と演奏を披露していただき、参加者たちは感動に包まれました。アンコールの声も音量大きく、音楽を通じて深まる友情と団結を感じるひとときでした。会場で販売した写真集「よみがえる1951米軍医G・バトラー大尉が撮った石巻地方」も完売。最後は定例の記念撮影で閉会となりました。

二次会は場所を「てんぐ大ホール銀座ナイン店」に移動しての開催です。28名のメンバーが参加し、一次会同様活気のある会になりました。

4年ぶりの集いは、会員同士の絆を強め、コロナ禍後の新しいスタートを切る素晴らしい機会となりました。参加者からは「久しぶりの再会で嬉しかった」「新しいメンバーとの交流ができて良かった」といった感想が寄せられ、今後も交流の場を大切にし、団結力を高めながら、より一層の発展と友情の輪を広げていくことが期待される一日となりました。



参加の皆さん

石巻の未来へ向かって！

東京・石中会の発展を祈念します

弁護士 **鈴木 雅芳** (26回生)

多田総合法律事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-13  
ノーブルコート平河町201号室

TEL.03-6261-3822 FAX.03-6261-3823  
E-mail : suzuki@ts-law.jp

東京・石中会の発展を祈念します

弁護士 **相澤 貞止** (18回生)

弁護士法人 山口法律事務所

〒104-0033 東京都中央区新川1-5-17  
エイハ新川5階

TEL.03-3555-7931 FAX.03-3555-7934  
E-mail : a-teishi@olo.gr.jp



向夏の候、東京・石中会会長の加藤友成様をはじめ会員の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。皆様にはいつも多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。一昨年度まではコロナ禍のために様々な教育活動を中止せざるを得ない状況でしたが、昨年度は、東京・石中会様のご協力をいただきながら、石中29回生の久保眞治様を講師にお迎えして教育講演会を復活することができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

さて、石巻中学校校舎の老朽化による大規模改修工事の間、生徒たちは隣接する旧門脇中学校での生活を続けていましたが、ようやく新校舎が完成し、生徒たちは今年度4月から新しい校舎で勉学に励んでおります。石巻にお立ち寄りの際はぜひおいでください。

今年度は、113名の新入生を迎え、全校生徒330名、教職員33名でスタートいたしました。私も着任して3年目となります。石中心得「自主」「自律」「品位」のもと、新たにスローガンとして3つのC（「CHANCE」「CHALLENGE」「CHANGE」）を掲げて、子どもたち一人一人が社会の中で自立して生きていくことのできる力、そして夢や目標を実現するために必要な力を身に付けられるよう、教職員一同力を合わせて教育活動に邁進していく所存です。

結びになりますが、東京・石中会の皆様のご発展と会員の皆様のご健康を祈念いたしますとともに、今後とも石巻中学校の子どもたちにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 石巻中学校からの活動状況報告(令和5年度)

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」に移行され、一律的な感染症予防や行動制限は求められなくなりました。石巻中学校でも、学校生活が新型コロナウイルス流行以前のものに戻り、コロナ禍で縮小されたり、

中止になったりしていた行事なども元通り行えるようになりました。そのような中、令和5年度石中生は、学習や部活動、学校行事などに思う存分自分の力を発揮し、充実した学校生活を送ることができました。



### 3年・東京方面 修学旅行(9月)

東京ディズニーランドや劇団四季(ライオンキング)、浅草寺、葛西臨海水族園、上野動物園、お台場、スカイツリーなどの行程を楽しみました。



### 1年・ふるさと大好き 中学生事業(9月)

日和山公園、市立図書館、羽黒神社、公民館北側沿いの土手などの清掃活動を行いました。



### 2年・職場体験 学習(11月)

コロナ禍で令和2年度から3年間実施できず、実に4年ぶりの実施になりました。59の事業所の方々に世話になりました。



### 能登半島地震支援 募金活動(1月)

生徒会執行部や福祉委員を中心に市役所北側玄関前で行い、多くの市民の方々にご協力をいただきました。



### コミュニティ・ スクールがスタート

学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとして、学校と地域が一体となって子供たちを育てる体制づくりが始まりました。



### 地域での防災学習 (震災遺構見学・10月)

学校運営協議会の委員の方々にもご協力をいただき、地域の震災遺構で防災学習を実施しました。



東日本大震災からの復興は、結果として新しい石巻・これからの石巻がどうあるべきかを、住民が13万人に減少した石巻地域に、厳しく問い続けている。

新しい橋もできた。石巻も高速道路で東京まで繋がった。新しいマンションも完成した。北上川の姿は一変し以前より、安全安心の川になった。学校の統廃合が進み、何とか教育の環境整備が進んでいる。

でも、ここで「石巻のこれからの姿」「どこを何を重点にした石巻」を一人一人が考える必要があるのではないだろうか。巨大化している県庁所在地の仙台に、有効なエネルギーを奪われる事がなく、県下第2の都市として、何をポイントに市民の総力を結集して活動しなければ、何の為の

13年だったのかと将来の石巻から厳しく追求され、取り返しのつかない状況になります。

私自身は、100年続いている川開き祭り、そしてリポーンアートフェスティバルを2つ柱にして、誇るべき北上川の活用・日本に残された自然豊かな牡鹿半島の活性化、そして明るい街づくりを目指して北上川・通学路・避難所の機能をレベルアップしていく。この3つのポイントにこれからの石巻づくりを、市民一体となって進めていく事が大切だと思っています。

大震災から13年の今こそ、残された我々の使命であると思います。

### 石中生一人一人が輝いた三大行事



大運動会  
(5月)

午前中だけの開催でしたが、各学年競技や3つの縦割チームに分かれての応援合戦など、熱い戦いが繰り広げられました。



群鷗祭前日祭  
(10月)

生徒会執行部が中心になって計画立案・当日の運営を行いました。ユニークな生徒会企画や有志の発表などで大いに盛り上がりました。



合唱コンクール  
(10月)

今年度は複合文化施設「まきあーとテラス」の大ホールで実施しました。どのクラス、学年の合唱も完成度が高く、聴いている方々を魅了しました。



群鷗祭  
(10月)

ステージ発表も展示作品も、生徒たちの個性やそれまで一生懸命準備を重ねた成果が十分に発揮されたクオリティの高いものになりました。

### 感動の第77回卒業証書授与式



3月7日(木)、旧門脇中学校体育館を会場に、第77回卒業証書授与式が厳粛な雰囲気の中挙行されました。今年度は在校生(2年生)も参加し、多くの来賓にも参列いただき、コロナ禍前の形で実施することができました。卒業生は大変良い表情で、力強く学び舎を巣立っていきました。

# 令和5年度教育講演会

令和5年11月10日、石巻中学校において教育講演会が4年ぶりに開催されました。第1部では元国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) の久保眞治さんが『国連と難民保護— 知って欲しい5つのギモンとヒント』と題して講演。第2部では地元で活躍の講師の方々により職業講和がありました。生徒たちは講師の話に熱心に聞き入っていました。基調講演の講師は東京・石中会からご紹介させて頂きました。



教育講演会の様子

## 講演を終えて 久保眞治(29回生)

30年の国連勤務で多くの難民の子どもや青年に出会いました。過酷な試練に遭いながらも希望を失わず、それぞれの将来の夢に瞳を輝かせていました。彼らが主役となる人道支援がいかに大切か。そのためには「教育」の機会こそが絶対に欠かせないと痛感しました。退官して本帰国、次代を担う後進の応援を願っています。ですから、この度の教育講演の機会は光栄なことでした。

講演に臨む問題意識は、「人類はいかに地球規模の危機に挑戦し乗り越えるか?」です。食糧危機、地球温暖化、核戦争の恐怖、さらに難民の爆発的増加など深刻な困難が世界を覆う現在、一方では他人の犠牲の上に自身の幸福を求めることを厭わない危険な風潮、「分断と対立の力」が強まっているのではないかと懸念しています。重苦しく耳を塞ぎたい内容、しかも話の切り口は馴染みのない「国連」や「難民問題」です。果たして中学生の心に届く話はあるだろうか? しかし私の懸念は杞憂でした。勢ぞろいした石中生の清々しい姿は頼もしく、懸命に話を聞く姿が印象的です。様々な危機から目をそらさず「知り・認め」、さらに自分事にする勇氣を持とうと話しました。

講演の最後は「きっと大丈夫」という言葉

で締めくくりました。たとえ遠くにいようと、会ったことがなくとも、困っている人がいたら放っておかない。共感力と想像力の翼を大きく広げ、何とか助け合う知恵を働かせよう。そうした創造的生き方を通して、私たちも先人たちのようにどんな破滅的試練だって必ず乗り越えられる。UNHCRに勤務した私の実感であり、今回の講演の結論です。講演を終え、何の落ち度もない子供や若者が犠牲にならぬよう、「我々大人の責任と覚悟が問われている」と改めて思います。

今回様々なご配慮をいただいた東京・石中会 加藤友成会長を始め関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。そして石中生の健康、成長そして益々のご活躍を祈っております。(2024年2月)



教育講演会の様子





教育講演会講師の皆さん

令和5年度 教育講演会分科会

分科会	講師名	演題
1	阿部太一氏(㈱イトナブ 教育部)	人生はコードのようなもの!
2	佐々木成美氏(NHK仙台放送局 アナウンサー)	伝える」ということ
3	木村英勝氏(㈱キムラふとん店 専務取締役)	眠りから日本を元気に
4	阿部紀代子氏(㈱八幡家 代表取締役)	人とネコと暮らす街
5	齋藤祐司氏(㈱齋齋商店 代表取締役社長)	時をかけるリサイクル
6	後藤峻氏(㈱ソーフダイレクト 常務取締役)	未来を切り拓く「人間力」について
7	遠藤一恵氏(㈱マルフジ運輸 代表取締役)	たくさんの出会い
8	櫻井佳代子氏(緑ヶ丘ひかり保育園 園長)	得意を生かして役に立つ!
9	木村亜梨沙氏(㈱ゼン・インターナショナル 取締役)	挑戦!
10	中川政治氏(3.11メモリアルネットワーク 専務理事)	京都から海外へ、石巻から全国へ



(石巻日日新聞提供 2023年11月30日)

令和5年度石巻市立中学校「教育講演会」基調講演の主な感想

- 私は久保眞治さんの話を聞いて、私の住んでいる日本はとても恵まれていて平和なんだと改めて理解しました。他の世界では、戦争や大きな問題がある中、そんな世界をより良くしようと頑張っている久保眞治さんのような人がいることに大きな感銘を受けました。これから自分は、他人の運のためにどのようなことができるか、考えていきたいです。(3年 N・M)
- 久保さんのお話を聞いて、まだ私たちが知らないような世界の問題がたくさんあるのだなと改めて感じました。また、国連が様々な世界の問題を解決しようと支援をたくさん行っていることも初めて知りました。この話をきっかけに、私に何ができか考えていこうと思いました。(3年 K・N)
- 自分が思っていたよりも難民が多く、世界規模の問題であることを知って驚きました。自分はまだ中学生で、小さなことしかできないけれど、自分からできることを見つけ、できる限りやっていきたいです。自分たちには関係ないと思わずに、自分も難民になる可能性もあるし、今の生活ができてることが当たり前だとは思わないようにして生活していきたいと思います。(3年 H・R)
- “戦争”や“難民”。社会の授業で習っただけで知ったかぶって日常生活の中で使ってしまうのですが、実は知らないことばかりだと実感しました。私たちにできることは少ないですが、まずは、難民について知ることから始めたいと思います。また、さまざまなことでも、募金活動でも積極的に参加したいと思います。(3年 M・S)
- 今回の話を聞いて、国連や難民問題についてあまり知らなかったことを知ることができてよかったです。かなり複雑な話が多く、理解が難しい部分もありましたが、それほど難民問題や国連の活動が複雑だということだと思えます。難民問題を解決するには、日本や日本以外の国の一人一人が難民問題の現状を理解し、自分に出来ることをしていくことが大切であることが分かりました。(3年 S・K)
- 自分もできる範囲で、募金などをして難民問題の解決に向けて行動をしていこうと思いました。難民がいることはニュースや授業などで知っていましたが、今回のお話で「世界の難民が一億人を突破」ということや、「9人に1人が食糧難」など、新たに知ることがありました。国連の必要性については、安全保障理事会P5の拒否について無効化されることも多々あり、必要?と思うこともあります。実際に世界の様々な危機に対応し、国連によって救われている人々も多いと思うので、国連は必要だと思いました。(3年 Y・A)
- 私たちが勉強したり遊んだりしている間にも、たくさんの難民の人たちが生まれ、ニュースでは報道されていない紛争やテロもたくさんあって、他人事では済まされなと思いました。いつまた日本に核爆弾が落とされたり、世界規模の戦争が起こるか分からなく、私たちもいつか難民になるかもしれません。そんな時も思いやりや譲り合いの心を忘れないようにしたいです。今日日本にある平和は当たり前のもではなく、私たちはかなり恵まれてるんだと思います。難民や食糧危機、戦争などが少しでもなくなる世界になってほしいです。(3年 O・A)
- 今回のお話で一番印象に残ったことは、「誰かにとっての正義は、誰かにとっての悪になる」ことです。「なるほど」と感じました。「正義」は誰かの犠牲で成り立っていることもあるのだと思知らされました。国連については、何かすごいことをしているといったふんわりした印象しかありませんでしたが、主に何をしているのか、その必要性など、より深く知ることができてとてもよかったです。速い地域のことからなど他人事として考えるのではなく、募金活動などに積極的に取り組んで、世界が平和になるように協力していきたいです。(2年 S・M)
- 難民は、紛争、迫害、自然災害などから逃れた人々であり、国連は彼らの保護と支援を提供しているということが分かりました。国連の取組により、世界中の難民がより安全で希望に満ちた世界に向けて歩む手助けがなされていると感じました。難民問題をもっと身近なものだと自覚し、自分ができるボランティア活動などに積極的に挑戦しようと思いました。(2年 Y・S)
- 今回久保さんの講話を聞かせていただいて、遠い場所でも起っていることも、身近なことだと思って深く考えることが大切だと思いました。国連の仕組みについても興味も湧いたので、調べてみようと思いました。自分たちは難民の子孫だというお話で、「乗り越えられる」「大丈夫」ということを聞いて、安心しました。難民の方々が欲しい言葉そのものだったので、自分もそのような言葉をかけられるようにしたいと思いました。(2年 O・M)
- 私はこれまでどのような人のことを難民と言うのか、世界にはどのくらいの難民がいるのか分からず、現状を甘く見ていました。久保先生は何度も、「見せたくない現実」とおっしゃっていましたが、それだけ起こってほしくないむごいことなのだと思います。また、話の中で「国連が無力化されてしまう」とありましたが、それほどP5の権限が強いということも分かりました。中学生の私たちが、難民問題の解決のために何が出来るかを考え、少しでも貢献したいと思いました。(1年 N・R)
- 「食糧危機」「パンデミック」「異常気象」「紛争」など、地球規模の危機を放置してはいけなく改めて思いました。難民については、教育、安全、仕事などが、当たり前のごとく奪われている人々ということが分かりました。今回のお話を聞き、服を寄付するなど、自分ができることで少しでも難民の助けになればいいと思いました。(1年 M・K)

# 時代の流れと共に歩む道

劇団うたたね、主宰 三國裕子(19回生)



2024年新春早々に、心碎ける出来事が。能登半島地震。思わず東日本大震災が蘇り、心痛みました。1月1日からもう3か月が過ぎ、犠牲になられた方々のご冥福を心からお祈りすると共に、被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げます。

皆様こんにちは。19回生の三國裕子と申します。昨年、東京・石中会が20周年を迎えたと、その想いをいろいろお聞きし、「友よ」の会報誌へ、拙い文ではありますが、寄稿させて頂く事となりました。苦手とする執筆ですが、宜しくお願い致します。

私にとって、母校石巻中学校は、私の人生に素晴らしい出会いをさせてくれた大切な学校なのです。それは、中学2年生の時です。その当時は学校の大きな行事と言えば、隣の門中の体育館をお借りしての授業でした。その時初めて演劇という「生」の舞台を観るといふ演劇鑑賞の授業だったのです。その劇団は全国を回って子供達に物語を伝えるという仕事をしていたのです。今までに受けた事のない衝撃的な感動体験でした。その当時私は、TV、映画とか画面の中にはとても興味と憧れはありましたが、生の舞台を観ることは初めてでした。その上役者達のストレートに感情で訴える素晴らしさに感銘を受け心を奪われてしまったのです。私も演じてみたい!!私もこんな感動を伝えられる役者になりたい!!頭を打たれた私は、もうその時からどうしたら良いか?誰に尋ねても答えがつかめず、そうだこれしかない!!と自分を奮い立たせ、東京の劇団へと修行の道を選んだのです。この時代は、東京が一番と憧れもあった時代でしたね(笑)。

その頃は、テアトル・エコーという劇団で、研究生として声優を学び厳しいレッスンの元新しい夢に向かって行きました。その中で沢山の役者達や演出家に出会いました。オーディションにも、何回も挑戦しまくりました。劇団新芸という劇団を立ち上げ、その時に、つかこうへい氏と出会ったのです。演じたのが「熱海殺人事件」。私達は無名でしたが、つか作品が岸田國士戯曲賞を受賞するきっかけとなる舞台だったのです。本当は文学座に書き下ろした作品でしたが、思いの他話題にならず、もっと深めて創りあげたのが、私達との“口立て”稽古でした。御存知のようにつかさん独特の芝居創りです。

つかさんはいつも、ニュートラルな状態で役者に立ち向かう。そして、台詞をぶつけた時に返ってくる瞬間的な反応のようなものがつかさんに次の台詞を生ませる。役者もニュートラルの状態でいなければならない。つかさん稽古で常に飛び交う罵声は、人間として碎ける。しかし後になり愛かもしれないと思わせるからすごい。泣きながら喰らいつきました。印象深く残っています。世に出た「熱海」はそれから多くの役者で演じられて来ました。その時に出会いがあったのが、風間杜夫さん、そして「東京乾電池」の柄本明さん。又、作家の別役実氏の作品との出会いも、私の芝居作りの「根っこ」と言っても過言ではありません。不条理劇のおもしろさに同感して私の演劇観は、深く深く広がって行きました。風間さんや柄本さんとも芝居作りをしてきましたが、特に風間さんは、映画、TVではもう有名人でしたが、生の舞台はその当時あまり経験が無く、皆と一緒に作り上げることが魅力に感じたようです。そしてこんなハプニングも…。風間さんと共演した本番中2人のシーンで、共に台詞を忘れて無言になってしまうという失敗も。今でこそは、アドリブの風間ですがね!今現在でも活躍中の役の舞台は、楽しみに観に行きます。柄本さんは、元々劇団を持っていたから、その公演への出演は楽しいものでした。彼はつかさんとは違う独特の作り方があったので、毎日どきどきの稽古でした。答えを求めない次から次への発想しなければならない役作りには奥深いものを感じ、益々生の舞台の凄さに惹かれていった時代でした。皆、みんな今程有名でなかった時代、お金も無かった時代、必死に愛する舞台を創り、観客との出会いを求め、泣き、笑い、真剣だった。それがすべて芝居の根底にあるのだから。そしてその時に、それぞれ自分の持っているお金をポケットから出し合い、稽古の帰りに飲む、チューハ



「ウクライナの祈り」より



「咆哮」より

イの何と美味かった事…(新宿西口ガード下)。おばちゃん「ハイおしんこおまけ」うれしかった(笑)。何が無くとも私達には、情熱があった時代でした。それから出会いも広がり、欲も出て来ます。NYへと修行の道が繋がって、ミュージカルの勉強をし、演劇観もますます深まり、帰国後はミュージカルの舞台へのオファーも受けました。

そして、何年かの後、自分が志した時代の石巻を思い出し、私が求めても答えの無かった故郷に、演劇を伝えられないのだろうかと考えました。誰でも持っている感性を活かして、表現の方法をとって。そこで平成5年に石巻にひとり芝居「うたたね」を旗挙げし、一人で何役も演じる事を楽しみながら、演劇の素晴らしさ、おもしろさを伝え続けようと思いました。不安はありました。どれだけの人が興味を持ち、観てくれるだろうか…と。ところが、なんと満席状態。石巻にもこんなに演劇に興味のある人達が居たと感動し、仲間が増えて行ったのです。そして、子供から年配までの演劇スクールを開き発表会をして舞台公演し、一般募集して集まった総数が200名から集合したミュージカル「モモ」「斎太郎ものがたり」「ツキを呼ぶ魔法のこぼれ」と大勢の市民と舞台作りを重ねました。出演者達はその度に涙を流し、多くの人の心底に残っていた事は言うまでもありません。芝居は、一人一人の心の熱さと、そして「仕掛」が必要なんです。コツコツとやり続けて行き、ありがたい事に石巻市から「芸術文化功労賞」を頂きました。ところが、私達を襲った、東日本大震災、その時は何が起こったのか理解出来ず、どうする事も出来ず、自分の力不足を切に感じ、演劇なんか何の役にも立たないじゃないか!!と自分を責め続けてしまったのです。でも、落ち込む私に仲間や生徒達、県外の方達からの言葉を頂き、役者という自分を信じ、自分にも出来ることをやらなければ、と気づかされました。この震災の怒り、痛みを、悲しみを、タブーかもしれないが忘れない為にも演劇で伝えようと、石巻で被災した人達を描いた「咆哮」(私達はもう泣かない)を、夫が書きおろしてくれました。そして舞台に乗せたのです。そ

の時、今でも忘れられないのが、満員の観客席から「ありがとう」「やっと楽になれたよ!!」と涙の声が会場いっぱい響きました。あー、お役に立つことが出来たんだ!!と。あの時、私のほうが頂いた感動は忘れる事は出来ません。しかし、その後のコロナ



「風になったお母さん」より

…何と言うことでしょうか。仙台から再演の声があり、人数制限有る公演でしたが、YouTube配信を同時にし、多くの方に観ていただき、伝える事が出来ました。

そんなコロナ禍の中、今度はウクライナの出来事、悲しみ。何かしなければ、今出来る事をと、夫の発案でウクライナチャリティー公演をする事にしました。「ひとり芝居」で売り上げのチケット代その他の収益金の全てを寄付するという案でした。333名を動員し無事に終え、137万円の収益金をウクライナの赤十字に送ったのです。

一日でも早く穏やかな日常に戻りますようにと祈りを込めて。昨年の5月には、10年に1度公演するという「カンタータ大いなる故郷石巻」の演出、朗読という大役を無事に終え約1,100名の動員、改めて石巻の歴史に市民の心が震えた時間でした。何が起こるか解らないこの時代に思う事は、演劇の道を選んだ自分は正しかったのかどうか、答は出ないけれど、自分を信じて貫いて来た道が、少しでも人にお役に立てる役者で居られる事は、信じたいと思います。私にこんなにも長く信じさせてくれた石中時代に生まれた事に感謝して。

今年の6月に19回生100名に満たない人数で、同期会を開催します。「あなたに会いたくて」と題して。楽しみです。

## 石巻の未来へ向かって！

BERU

株式会社 ベル技研工業

代表取締役社長 鈴木清勝 (18回生)

〒223-0052 神奈川県横浜市港北区綱島東6丁目16-16

TEL.045-541-6656 <https://beru.co.jp> [info@beru.co.jp](mailto:info@beru.co.jp)

## 精密機械部品加工のパイオニア

多様化するニーズに合わせて高品質・高精度な精密機械部品や宇宙機械部品を製造しています。



# 関係人口と復興バー

一般社団法人ISHINOMAKI2.0 代表理事 松村豪太

関係人口という言葉をご存じでしょうか。このごろ新聞などでも目にするのが多くなったキーワードです。国立社会保障・人口問題研究所によれば50年後には現在の7割になるという我が国の人口減少は変え難い未来であり、石巻市についていえば2060年には6万人を割り込むという推計もあります。国は地方創生の名のもとに地方への移住推進を図っていますが、縮みゆくパイを奪い合うだけでは幸せな将来は見込めません。こうした背景のもと、大都市圏などに住む人が愛着を持つ自治体に継続的に関わり続ける「関係人口」が注目されているのです。

関係人口は、移住した「定住人口」でも、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指すとされますが(総務省関係人口ポータルサイトより)、地域との関わりにおいて一人の人間が複数カウントされるこの概念は、面白いアイデアや盛んな行動力、広いネットワークなどを有し、大きなインパクトを創出する人材がたくさん地域と関わることを観測・推進するものとして人口減少社会において可能性があるものと言えます。東日本大震災という未曾有の大災害のなかでも特に顕著な被災地である石巻市は、訪れたボランティアの多くが深い思い入れや関係性を有したという意味で関係人口先進地といえます。

遅れましたが、松村豪太と申します。今は復興祈念公園で遺跡のようにになっている門脇保育所に通っていた、今年50になる者です。私は3.11当時石巻市中央において津波の上で過ごしていましたが、2011年の6月ごろに地域内外の「面白い」方々とISHINOMAKI2.0 (以下2.0) というまちづくり団体を立ち上げました。2.0は石巻を震災前の状態に戻すのではなく、震源地からクリエイティブなローカルのプロトタイプを作り出したいという思いで、様々なテーマのもと実験的な取り組みを行っています。いろいろなものを2.0という団体の中に抱えるのではなく、地域に面白いプレイヤーが増えることこそ重要という考えのもと独立や副業を推奨していますが、今や空き家活用とえば全国でも有数の株式会社巻組や、地域ぐるみの学びや教育に取り組む一般財団法人まちと人と、新しいカルチャーの拠点となっているシアターキネマティカ、あるいは他県でも2.0のようなまち

づくり団体を立ち上げた仲間がメンバーから出ていることは小さな自慢です。

ワーケーションや移住コンシェルジュ、本のコミュニティスペース運営など多岐にわたる2.0の活動ですが、ごく初期の事業の一つに「復興バー」があります。広小路にある天井まで被災した小さな空き店舗をDIYで改修した、10席たらずの小さなバーです。2011年7月に「見切り発車特急」という看板とともにオープンしたこの変なバーには、ボランティアや復興支援の研究者、商店会の理事長や老舗のおかみさんなど、連日たくさんの方が来て下さいました。マスターは私で、まだ信号も灯らない暗い通りを照らすバーでの多くの出会いはとても楽しかったのですが、昼間の活動と合わせて疲弊してしまい、カウンターの陰に体育すわりで眠りこけることも。そんな私を見かねて「代ろうか」と言ってくださったのがお客さんとして来ていた山徳平塚水産の平塚社長でした。震災前からお世話になっていた社長の言葉を見逃さず、ぜひやってくださいと捕まえて始まったのが1日マスター制度です。ドリンクやおつまみのメニュー考案はもちろん、BGMや演出、皿洗いまで全てお任せする1日マスターには、呉服店の若旦那、牡鹿半島のお寿司屋さん、外国人、ラッパー、時には有名芸能人まで、沢山の方がカウンターに立って下さいました。売り上げから歩合でお金を入れていただくのですが、新聞社の重役がマスターを務めた際には多くの社員さんたちに高級ワインを売って下さり、復興バーもずいぶん潤いました。

復興バーの1日マスターは、お金を得る手段というよりも(たくさん稼がれる方も時にいますが)、カウンターの中でマスターという体験をする、マスターという役割をもって普段と違うコミュニケーションが持てるという所にこそ妙があると思います。狭いがゆえにお客さんとお店、ある



石巻の復興バー



2013年 最初の復興バー (銀座)

いとお客さん同士の距離が近くなる復興バーという存在や、非日常的なロールプレイである1日マスターという仕組みを好ましく思ってくれた方々の中に東北支援会の皆さんがいらっしゃいました。東北支援会とは、被災した東北の産品を購入したり寄付をしたり、現地に足を運び、あるいは東京で東北の方々との交流することなどを通じて息の長い支援活動をなさっている銀座の経営者を中心とした皆さんです。この東北支援会の中心メンバーと、東京、しかも銀座で復興バーのようなイベントを企画しようと動き出したのが2012年のことで、2013年5月末には銀座8丁目の小さな蕎麦屋さんの店舗を好意で提供いただき、1か月間にわたる最初の復興バー@銀座がオープンしました。会期中、石巻以外からも岩手や福島で様々な取り組みを行っているリーダーたちが日替わりでマスターとなり、〇〇ナイトや△△バーなど思い思いの名称を付けて各地の美味しいお酒や食べ物、そしてなにより会話を提供して大いに盛り上がりました。石巻の復興バーも賑わっていましたが、さすが銀座は比では無く、初開催の2013年は1か月で約3000人もの方にお越しいただきました。ただ、石巻では溢れたお客さんが店の外にベンチを並べて盛り上がりつつも特に問題とならなかったのに対して、東京で同様に通りに溢れた際にはすぐにお巡りさんの注意を受け、石巻の大らかさのありがたみを実感したものです。翌年以降も銀座7丁目、同1丁目、さらには表参道、神田、秋葉原と場所を変えながら毎年開催を続け、2015年などは41日間で6000人の来場者を得ました。開催にあたっては石巻圏人会や東京・石中会の方々にもたくさんお越しいただき、運営に協力をいただいております。

復興バー@銀座という取り組みは、単に支援をしたりされたりするにとどまらず、被災当時の話や復興支援に訪れた際の話、あるいは地元出身者が故郷の話で盛り上がるな



2020年 銀座4丁目での開催

ど楽しくて深い交流が生まれ、食材などの仕入れ・販売といった経済活動につながり、さらには実際に石巻を始めとした被災地に訪れる動きがうまれるなど、関係人口の文脈で優等生と言えると思います(我ら2.0ではなく東北支援会を中心とした皆さんの労力が主なのですが、)。

そんな復興バー@銀座にも冷や水を浴びせたのがコロナショックでした。あるコアな参加者に言わせれば「唾がかりあうような距離で熱く交流できる」ところに魅力のある復興バー@銀座はいたってコロナ禍に向かない催しであり、銀座4丁目における2020年1月の開催を最後に休止することになります。しかし、密を避ける発想から銀座の屋上で1日限定の開催をするなど、コロナの落ち着きとともに再開しつつあります。普段と違うコミュニケーションを楽しんで継続的な交流につながる復興バーというフォーマットには、石巻と銀座だけでなく、各地で関係人口を創出するヒントがあると思います。

最後に一つお知らせを。石巻の元祖復興バーもコロナ禍以降長らく休止しておりました。しかし、この復興バーは2.0という活動においてもかけがえのない原点であり、ただいまゴールデンウィークを目途にリポートを目指しています。内装や店名にも変化があるかもしれません。オープンの暁には東京・石中会の皆様のご来店を心からお待ちしております。

### 石巻の未来へ向かって！

美味しい!を笑顔でお届けします。

- ★野菜のサブウェイ
- ★お肉のペッパーランチ
- ★クレープのディッパーダン
- ★ホテルレストラン事業

**株式会社 ゼンインターナショナル**  
代表取締役 木村美保子  
石巻市西山町3-1 TEL.0225-94-6792

広告代理・印刷・IT関連

**東北プランニング(株)**

0120-95-0352

大正二年創業 鰻・割烹

**八幡家**

松川横丁

TEL.0225-22-0138

愛する地域を未来の笑顔につなげます。

**株式会社 石巻日日新聞社**

TEL.0225-95-5231



地域の未来と環境を考える  
**若生工業株式会社**

—ISO9001・14001・45001 認証登録—

〒986-0871 石巻市清水町二丁目3番3号  
TEL.0225-94-1111 FAX.0225-22-3992  
<http://www.wakoinc.co.jp/>

# 12年ぶり「石巻第九」復活!

—総勢100人の喜びの歌— 構成・文 岩崎久仁夫(18回生)

昨年の11月26日、石巻地方を中心とした市民合唱・交響楽団による「第1回復活の石巻第九」がマルホンまきあーとテラス大ホールで12年ぶりに開催され、総勢約100人がベートーベンの交響曲第九番を披露しました。

第九公演は、東日本大震災前の平成23年2月に、1市6町の合併5周年を記念し、「第九で手をつなごう公演」として旧石巻市民会館で開催されましたが、翌月に震災が発生し、芸術文化活動の拠点施設も大きな被害を受けました。その後、ハード面の復興見通しが立ち始めた令和2年、今度は新型コロナウイルスの感染拡大により、地域の文化活動に再び影響が生じることとなりました。このような中、令和3年8月に芸術文化振興の新たな拠点としてまきあーとテラスが完成、石巻復興特別演奏会が開催されました。そして「1度きりの演奏会だけでは元気を届けきれない」と石巻市にとって特別な曲である第九公演を復活させるため実行委員会を発足させ、地域内外から歌い手や奏者を募って練習を重ねてきました。

迎えた本番では、満席の大ホールで70分間休憩なしで演奏。ソリストは地元出身または在住の渡邊公威さん(石中42回生)、千葉昌哉さん、三浦梓さん(石中59回生)、

阿部奈直さん、さらに市内外から募った合唱団も加わって約20分間壮大な歌声が届けられ、聴衆はスタンディング・オベーションで惜しみない拍手を送りました。

震災前の第九公演にも出演した石巻市民交響楽団の足立岳志さんは「復興完結式を経て再び演奏されるとは。第九は特別な曲、演奏を聞いて一緒に歌いたい、演奏したいという若い世代が生まれ、受け継がれていけば」と願っていました。

今年は11月24日に「発展の第九第2回石巻第九～継続こそ力なり」の開催が決定しております。今から楽しみです。



(石巻日日新聞提供 2023年11月27日)

石巻の未来へ向かって!		
きものと帯 <b>株式会社 京屋</b> アイトピア(大町)通り TEL.0225-22-0727	味が宝、のれんも宝の老舗 <b>寶来寿司</b> グランドホテル並び TEL.0225-22-1258	鉄スクラップ古紙リサイクル <b>株式会社 齋武商店</b> TEL.0225-93-5111
<b>株式会社 小松塗料店</b> 石巻市南中里四丁目7-17 TEL.0225-22-6258	都市ガス(天然ガス)・プロパンガス <b>石巻ガス株式会社</b> 石巻市中央2-7-38 TEL.0225-96-3007	老舗の美味しいおそば <b>そば処 もりや</b> アイトピア(大町)通り TEL.0225-22-1842
海産物のお土産なら <b>井上海産物店</b> あげぼの北1-1-10 TEL.0225-22-1030	水産庁長官賞に輝く名品 <b>栗野蒲鋒店</b> 市役所通り TEL.0225-22-2971	赤い扉のカジュアルBAR <b>イル マッジョ</b> 東京都港区新橋4-18-4 1F(土・日・祭日休) TEL.03-6809-2823
かながわの地酒専門店 小料理 <b>ほおづき</b> 横浜市中区住吉町5-63 TEL.045-633-2627	<b>alpha design</b> アルファデザイン 佐藤理樹(41回生) 横浜市中区相生町3-61 さくらWORKS(関内) Tel.045-315-5591 E-Mail: alpha@trad.ocn.ne.jp	東京・石中会 広告募集中

## 会員からのお便り

### 徳江明【第5回生】

知人の応援を兼ねてカラオケ大会(高齢者クラブ連合会主催)を観に行きました。皆上手に歌うので聴いて生きる活力をもらいました。他のクラブとのポッチャ交流試合では惜敗しましたが、これから他クラブとの親睦を深めていくものと確信しました。

### 増健寿【第6回生】

体調が悪いので欠席させていただきます。

### 伊藤恵子(旧姓:遠藤)【第7回生】

・石中会だよりで知った博物館外側だけ、北上川の夕日を眺めながらタクシーでまわったのが5月。  
・渡邊君や三浦さんの歌声を楽しみに参加させていただきます。

### 宮川岩夫【第7回生】

今回7期生多数参加します。

### 川島あつ子(旧姓:三宅)【第8回生】

大変遅くなりまして申し訳ありません。出席しますのでよろしくお願いします。

### 橋本照好(屋号:橋本照嵩)【第8回生】

・スペインマドリッドANA財団にて写真展「誓女GOZE」開催2023.5.23~7.14  
・「橋本照嵩傑作写真展」大阪府服部天神写真ロードin豊中(2023年7月14日~8月8(火)まで2会場~8月29日~会場)  
・東京都港区六本木「禅フォトギャラリーにて写真展「北上川」2023年8月25~9月22日  
◎写真集「石巻」発刊予定(8/20頃)

### 山手てい子(旧姓:井上)【第8回生】

石中会だより楽しくなつたかしく拝読させていただきました。石中会の集いが楽しい集まりになりますように。欠席お許し下さいませ。

### 西井陽子(旧姓:浅野)【第8回生】

ご盛会をお祈り申し上げます。

### 島山 尚【第8回生】

年齢相応に劣化中、心身共に超老人域入り残念ながら上京する元気なくなりました。

### 高島辰廣【第8回生】

足腰が弱り外出もままならない昨今です。たのしい会になる事を祈っております。

### 早田 光(旧姓:石島)【第9回生】

毎年冊子を楽しみにしております。もう東京に行く機会はなくなってしまいました。元気で。

### 田中龍子(旧姓:永沼)【第9回生】

いつもお便りありがとうございます。銀座方面ちょっとわかりかねるので欠席致します。幹事さんごころう様です。

### 緒方正子(旧姓:佐藤)【第10回生】

「石中会だより」いつも楽しみにしております。ありがとうございます。皆様のご苦勞感謝致しております。今後共よろしくお祈り致します。

### 角田守弘【第10回生】

常も御苦勞様です。お世話になっています。連絡頂いて、今回より会費増額しました。これからもよろしく。今年で82歳ですが相変わらず医者いらずの生活をすごしています。

### 栗原光男【第11回生】

「東京・石中会」創立20周年おめでとうございます。「石中」というだけの「絆」だけで創立時より先輩の皆さんの無償の献身に心より感謝致します。年相応の不具合をかかえながらスポーツジム通いの日々ささやかな幸せを感じております。ありがとうございます。

### 雫石登志子(旧姓:浅野)【第11回生】

事務局の皆様いつもありがとうございます。出席は出来ませんがいつも東京・石中会だより楽しみにしております。

### 村上秀一【第12回生】

体調不良のため。

### 赤塚誠哉【第13回生】

待ちに待った集まりですが、病理学会と重なり残念ですが欠席致します。1959年の1学期まで石中におり、2学期は仙台上杉山中に、1960年から東京に住んでいます。震災前までオリビックの年、石巻で石中同期会がありました。先日は北上山中の同級生とお酒を飲みました。年を取ると昔の仲間と会うのが楽しみです。

### 岡田ちづ子(旧姓:梶谷)【第13回生】

皆さまお元気ですか。スタッフの方々、いつもありがとうございます。悲しいことが多すぎて、心が痛みます。戦争のない地球になることが願いです。そんな中でもテレビでのスポーツ観戦が楽しみな日常です。孫のような選手たちが愛おしく、ぼっちスタンディングオベーションに明け暮れております。「梅雨晴れ間 空の彼方の白い球 兜跳ね 枯れなでしこも つられ翔ぶ」どうぞお元気で。

### 小川孝三郎(旧姓:鈴木)【第14回生】

体調不良のため欠席します。東京・石中会の益々の発展を祈ります。

### 片山洋子(旧姓:平塚)【第15回生】

東京・石中会20周年おめでとうございます。年令の為、ひざや腰が痛み出しましたが、ガーデニングやミニテニスを楽しみでやっています。当日は帰省のため欠席させていただきます。健康が一番だとつくづく思います。

### 伊藤孝道【第15回生】

幹事の皆様ご苦勞様です。盛会をお祈り致します。

### 藪田美智子(旧姓:梶谷)【第16回生】

先約有り、残念ながら欠席させていただきます。

### 葉 良枝(旧姓:菊池)【第16回生】

幹事の皆様、ありがとうございます。元気で毎日を過ごしております。

### 岩崎宏幸【第17回生】

3月で町会長職を辞して、町会活動継続の為普通の幹事になりました。一方4月より民生委員として、地元の高齢者やお子さんの為に町内を歩いてます。民生委員活動の難しさを感じる昨今です。石中会の発展を御祈念申し上げます。

### 今野雅隆【第17回生】

突然のお葉書で失礼します。6月30日の朝、体温が37.5°Cに上昇し、風の症状を呈しました。翌日には平熱に戻りましたが、時節柄、万が一を考えて今年の「東京・石中会」はお休みにしたいと思っております。久しぶりに皆様と「ふるさと・石巻」の話ができると楽しみにしておりましたが、残念です。勝手にいって申し訳ありません。この度のご「費用」が発生するようでしたらご遠慮なく請求願います。

### 熊谷道夫【第17回生】

毎回欠席で申し訳ございません。小生はコロナ禍でも何と元気に過ごしてきました。盛会をお祈りいたします。

### 高梨誠【第18回生】

石巻には長男(兄)が住んでおります。昨年、妻と次女夫婦、孫(二人)6人で帰省して、楽しい思い出を作りました。石巻もずいぶん復興しました。

### 小野恵久子(旧姓:千葉)【第18回生】

残念ですが、他とぶつかっています。皆様お元気で!! いつも色々ありがとうございます。

### 渡辺総一【第18回生】

今回こそ出席させていただこうと思っておりましたが、所用のため出られなくなりました。大変残念です。盛会をお祈りいたします。今年2回関西から、キリスト教美術のお話を依頼されました。1回目は6月で無事、関西学院大博物館で済みました。2回目は11月に京都の関西セミナーハウスで。開催もする予定です。

### 北川知代子(旧姓:亀山)【第18回生】

久しぶりにお会い出来ると思いましたが、体調がよくなくて行けなくなり残念です。

### 小澤賢二【第18回生】

所用が有り重なってしまい申し訳ないです。盛会を、皆さんに宜しく!! 元気で!(ゴルフもHD10)

### 出雲雅明【第18回生】

大変申し訳ありません。スケジュールの都合上、出席できません。ご盛会をお祈りいたします。

### 藤原秀悦【第19回生】

元気で暮らしています。まだ現役で仕事しています。

### 星武雄【第19回生】

ご無沙汰しております。取り纏めいただき感謝しております。

### 茂泉吉則【第20回生】

当日は勤務があり参加できません。御盛会を祈念いたしております。

### 村田彰【第20回生】

昨年10月に石巻で石中同期会があり(古希祝)出席致しました。皆様へ宜しくお伝えください。

### 中村直子(旧姓:高田)【第20回生】

四年ぶりの開催おめでとうございます。又会場も銀座ライオン素敵ですね(有形文化財ですね)。私が学生の頃、父が東京に出て来ると時折「ライオンに行こう、懐かしいなあー」とお酒の苦手な父は、オムライスを食べていました。元気でいたら115才。元気な私は72才。

### 原田康弘【第24回生】

世界パラ陸上選手権のためフランスに遠征中で欠席致します。

### 尾形哲哉【第26回生】

よろしく申し上げます。

### 久保眞治【第29回生】

2022年2月、国連を退職後、本帰国しております。妻(同じく29回生)共々お蔭様で無事に暮らしております。石中会の集い、盛会を願っております。

### 小野里淳子(旧姓:尾形)【第31回生】

いつもありがとうございます。年会費は6/7に振込み致しますので宜しくお願いします。

### 高森圭子(旧姓:井上)【第35回生】

ご連絡ハガキが遅くなり申し訳ありませんでした。どうぞよろしくお祈り申し上げます。

### 渡邊公威【第42回生】

お世話になります。どうぞよろしくお祈り致します。皆様にお目に掛かれますのを心待ちに致しております。

### 及川和彦【第47回生】

今年3月でサラリーマン生活を卒業しました。これまで関わって来た地元でのボランティア活動に本腰を入れて行くつもりです。まだまだやりたい事が多く困ってます。

## 2023年度『東京・石中会』年会費、寄付者 払込名簿

【3回生】武山勝	志村明子・鈴木清勝・鈴木裕子・高梨誠・	【8回生】樽見和子・西井(浅野)陽子
【5回生】徳江明	高橋誠・田村隆・中西園子・西田美知子・	【10回生】緒方正子・亀山雄臣・川野澄子・齋藤宣子・
【6回生】細川金子	本橋富久子・山崎容子・吉田るり子・村上秀一	角田守弘
【7回生】伊藤恵子・金澤功・橋本洋二・宮川岩夫・波多野たか子	【19回生】藤原秀悦・星武雄	【11回生】栗原光男・三宅靖代
【8回生】市川洋子・川島あつ子・菅野邦子・首藤光春・高嶋展廣・樽見和子・西井(浅野)陽子・畠山尚・松田勝治・山手てい子	【20回生】佐々木千代子・新田輝夫・茂泉吉則・渡辺節子	【12回生】岡崎國男・後藤利男
【9回生】菊池正・田中龍子・早田光	【24回生】原田康弘	【13回生】赤塚誠哉・八重樫典雄
【10回生】緒方正子・亀山雄臣・川野澄子・齋藤宣子・田代勝彦・角田守弘	【25回生】師岡千英子	【14回生】細川忠勝・小川孝三郎
【11回生】栗原光男・壺石登志子・高橋和子・渡邊みよ・中島富子・三宅靖代	【26回生】大久保(畠山)多賀子・斉藤恵子	【17回生】石崎宏幸・今野雅隆
【12回生】今井あい子・岡崎國男・金澤洋・金澤由紀子・西條修・西條純一・佐藤正克・夏目都喜子・吉田義男・後藤利男	【29回生】久保真治	【18回生】相澤貞止・出雲雅明・岩崎久仁夫・小笠原けい子・小澤賢二・加藤友成・佐々木典雄・志村明子・鈴木清勝・鈴木裕子・高梨誠・高橋誠・西田美知子・本橋富久子・村上秀一
【13回生】赤塚誠哉・植草良子・岡田ちづ子・八重樫典雄	【30回生】高橋章建	【19回生】藤原秀悦
【14回生】細川忠勝・山中圭子・小川孝三郎	【31回生】岡崎一也・小野里淳子・神羽恵子・木村美保子・酒井義孝・島貴裕之・網島祐子	【20回生】佐々木千代子・新田輝夫・茂泉吉則
【16回生】内田節子・小山慶孝・鈴木横子・藺田美智子・星澤正孝・葉良枝・吉田義弘・渡辺啓子・佐藤政彦・佐々木光子	【32回生】舩聖美	【24回生】原田康弘
【17回生】岩崎宏幸・熊谷道夫・今野雅隆	【34回生】星野知倫	【26回生】大久保(畠山)多賀子
【18回生】相澤貞止・井桁美紀子・出雲雅明・岩崎久仁夫・小笠原けい子・小澤賢二・小野恵久子・加藤友成・河口登喜子・北川知代子・駒場純子・佐々木典雄	【35回生】高森圭子	【29回生】久保真治
	【36回生】浅野 剛・松村紀代	【30回生】高橋章建
	【40回生】成家新一	【31回生】小野里淳子・酒井義孝
	【41回生】佐藤理樹	【34回生】星野知倫
	【42回生】渡邊公威	【40回生】成家新一
	【44回生】ゲルティンガー祥子	【41回生】佐藤理樹
	【47回生】及川和彦	【42回生】渡邊公威
		【44回生】ゲルティンガー祥子
	<b>ご寄付</b>	(以上、順不同・敬称略)
	【3回生】武山勝	
	【6回生】細川金子	
	【7回生】伊藤恵子	

### 「年会費」お振込みのお願い

- ◎東京・石中会では新型コロナにより3年に渡る総会中止、等の影響が非常に大きく年会費のご支援をいただく会員の方が大幅に減少しております。
- ◎会員の皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。
- ◎年会費は1,000円以上(単一年度分)でのお振込みをお願い致します。 ※複数年度分でのお振込みはお受けできませんのでご了承下さい。
- ◎お振込先は右記の通りです。①銀行名：ゆうちょ銀行 ②加入者名：東京・石中会 ③口座記号・番号：00130-2-444072
- ◎「ご依頼人」の「おところ」「おなまえ」「ご連絡先電話番号」に加えて「通信欄」には「年会費」及び「回生」の記述が必要です。お振込みの前に必ずご確認ください。

### 「第18回 東京・石中会の集い」のご案内(本格的再スタート記念)

●とき：令和6年7月13日(土) 12時～15時 ●ところ：銀座ライオン「銀座クラシックホール」

東京都中央区銀座7-9-20 銀座ライオンビル 6F TEL.03-3571-2590 ※地下鉄銀座線 銀座駅 徒歩3分、JR有楽町線 徒歩7分、JR 新橋駅 徒歩7分

お申し込みはこちら <https://tokyosekichukai.net/tsudoi-annai2024/>



### 訃報

心からご冥福を  
お祈り申し上げます

4回生	片ヶ瀬昭 様	2021年9月4日逝去	10回生	勝又 勝 様	逝去年月日不明
6回生	相澤昌男 様	2023年1月3日逝去	12回生	本多孝子 様	2019年逝去
7回生	芦原 尚 様	2022年12月12日逝去	13回生	米田政明 様	2021年6月10日逝去
8回生	渥美 淳 様	2021年逝去	24回生	鈴鹿景子 様	2023年7月18日逝去

### 【事務局便り】

「東京・石中会の集い(総会)」は、新型コロナウイルス感染症による3年連続の中断を経て、昨年何とか開催に漕ぎ着けることができました。開催場所は「銀座クラシックホール」。「東京・石中会の集い(総会)」の場所として初めての利用でした。当該ホールは、銀座ライオンビルの中にあります。1934年に創建された日本最古のピアノホールで創建時の優雅な昭和レトロの雰囲気を保ち、天井が高く広くており登録有形文化財(建物)に指定されています。コンサート、パーティー等に利用され東京・石中会創立20周年を記念するのに相応しい会場で、参加した皆さんからも高い評価を受けました。

今冬はコロナよりはインフルエンザの感染に社会の関心が向けられているようですが、コロナによる社会生活の変化、例えば在宅勤務は定着したようです。東京・石中会の役員会も御多分に洩れずコロナの影響でオンライン会議も採用しておりますが、加えて従来のリアル(オフライン)会議にオンライン会議を融合した形の会議(ハイブリッド会議)も採用し、各形式の会議を月1回のペースで行っております。役員会の中心テーマは常に会報誌「友よ」と「東京・石中会の集い(総会)」の充実のための方策如何です。例えば、会報誌「友よ」への寄稿者、記事内容等の決定、会報誌制作、会員への会報誌等の送付費用の節約方法の検討、「集い(総会)」開催場所の調査決定、「集い(総会)」を盛り上げるためのイベント内容検討、教育講習会の講演者の選任等々が議論されます。ただ、役員会はコロナだけでなく社会の高齢化の影響も受

けております。2022年(令和4年)には、高齢者(65歳以上)は全人口(約1億2,500万)の約29%(3,625万)を占めていますが、役員会の構成にも高齢化は反映されています。会員の皆さん、役員会への参加を是非積極的にご検討下さい。東京・石中会の役員会の運営を更に活性化させて行くためには、これまで以上に面白い発想や若い世代の新しい発想が役員会に加味されることが絶対必要です。また、会報誌「友よ!東京・石中会だより」を読んで故郷石巻や学生時代に思いを馳せるだけでなく、「東京・石中会の集い(総会)」にも是非ご参加下さい。同窓会や同級会が素晴らしいのは、一同に会した瞬間に「今」という時間を飛び越え、「あの頃」に戻ってしまうということではないでしょうか。開催場所は、本年も「銀座クラシックホール」が予定されております。

最後になりますが、「東京・石中会の集い(総会)」で朗読して頂いた女優の鈴鹿慶子(24回生)さんが昨年ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

事務局長 相澤貞止

会報誌編集委員会 委員長 加藤友成  
編集長 佐藤理樹